

専攻実習Ⅱ

講師名	千葉 賢一	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、岩手県で生産される主要花き品目や卒業研究対象品目の栽培管理を通じて、基礎的な生産管理技術を習得するための実習を担当する。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専攻科目	農産園芸・花き	必修	2	通年	450	10
使用教科書・副教材	令和2年度花き栽培技術指針(岩手県) 令和3年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針(岩手県)					
授業の目的	岩手県の主要花き品目や卒業研究対象品目の栽培管理を通じて、作物の生理・生態を理解し、基礎的な栽培管理技術及び収穫・調製技術を習得する。					
授業の到達目標	作物の生理・生態を理解し、基礎的な栽培管理作業及び収穫・調製作業を実践できる。					

月	学 習 項 目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4～5月	育苗技術 圃場準備～定植 (培土作製～鉢上げ)	花きの育苗技術を習得する。 圃場準備(圃場設計、施肥設計等)から定植まで一連の作業を通じて、技術を習得する。	40	実習	
5～11月	栽培管理技術 病害虫防除技術	作物の生理・生態を理解し、基礎的な栽培管理技術を習得する。 主要病害虫の診断と防除技術について学ぶとともに、適正かつ安全な農薬使用・散布手順を習得する。	200	実習 事例研究	レポート
7～10月	収穫・調製技術 販売手法	適切な収穫時期(切り前)の判断や、規格に基づく選花・調製作業など、収穫・調製技術を習得する。 農大祭での対面販売や産直販売を通じて、消費者の嗜好や販売手法を学ぶ。	90	実習	
5～11月	調査手法	生育調査及び収穫調査(収量、品質)の手法、データ整理の方法を習得する。	90	実習	
4～11月	生産工程管理	ASIAGAPに準じて実践し、生産工程管理手法について理解を深める。	30	実習	
		合計	450	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験は実施せず、以下により評価する。

習熟点: 70%(技術の習熟度、受講態度、レポート)

平常点: 30%(出席状況)

履修に当たっての留意点等

作物の生育状況や天候等により、他の講義と入れ替わる場合があること。
卒業研究に連動して、学習事項を変更する場合があること。